



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2024.2.13

木工教室

2月8日に今年度の木工教室が行われました。最初に愛媛県森林林業課の方から、森林や林業についてのお話がありました。愛媛県の面積の7割が森林であることや、森林の持つ多様な働き、林業は「植えて、育てて、切って、また植える」の循環サイクルが大切であることなどを教えていただきました。愛媛県がヒノキの生産量全国3位という事も初めて知りました。

その後は、それぞれに分かれて制作活動を行いました。1年生から4年生までは、木工クラフト指導者の方が持ってこられたドングリや木片等何種類もある材料を使って動物をイメージして制作しました。これまでは12月に行うことが多く、クリスマスイメージしたツリーやリーフなどがテーマでしたが、今回は幅広く捉えられるテーマだったので、とても個性豊かで多様な作品が完成しました。制作には主にグルーガンを使います。回を重ねた3、4年生はとても手際がよく制作でき、それを見て1、2年生も頑張っていてすばらしいと、指導者の方が大変ほめてくださっていました。



5、6年生は、愛媛県森林組合の方の指導の下、職員室前に置く各学年のプリント入れの棚と、廊下に置く台を2グループに分けて制作しました。材料は、キッチリ設計して加工してくださっていて、それをみんなで組み立てていきます。インパクト電動ドライバーも使わせていただきました。上手に組み合わせていくのはなかなか難しく、苦労していましたが立派なものが仕上がりました。さっそく、使わせていただいています。



この授業は、緑の少年団活動の一環でもあるので、材料費などはそちらから出ています。これまでに、玄関の受付台や来客用靴箱、その前にあるすのこ、淑郎先生コーナーの台等が制作されてきました。学校に木のぬくもりが感じられる備品が増えてきていて、本当にありがたいです。

